



白梅通信

9月号 R1.9.10 発行

宮城県古川黎明高等学校 〒989-6175 宮城県大崎市古川諏訪一丁目4番26号
TEL 0229-22-3148 FAX 0229-22-1024 <https://freimei-h.myswan.ed.jp>

第15回黎明祭～令和で黎WA!～



8月31日(土)、9月1日(日)の両日、中・高合同の第15回黎明祭が開催されました。31日は県新人戦でグランプリを獲った軽音楽部ハートビートによる演奏とダンス部の踊りでオープニングが始まり、会場は一気に盛り上がりを見せました。その後、吹奏楽部及びコーラス部の発表、吟詠剣詩舞愛好会による演舞披露、書道部の書道パフォーマンスで午前の部は終わり、午後からはクラスパフォーマンスによるクラス対抗戦が始まりました。これは審査員による採点があり、クラス一丸となった演技とステージの構成力で、3年1組・5組の2クラスが同点優勝し、例年にないハイクオリティな踊りを見せてくれました。9月1日は文化部による一般公開や運動部の工夫を凝らした模擬店・PTAバザーがあり、多くの保護者や一般のお客様を迎えて、秋の文化を堪能して頂けるよう生徒達が工夫を凝らした発表を終えました。保護者の皆様にはPTAバザーへの出品及び販売にご協力いただき、ありがとうございました。



WBA女子フライ級チャンピオン藤岡さん来校



藤岡奈穂子先輩(H6卒)が母校を凱旋訪問

7月12日に行われた世界ボクシング協会(WBA)女子フライ級タイトルマッチで、引き分け防衛を果たした王者の藤岡奈穂子選手(H6卒)が24日、母校古川黎明高校をサプライズ訪問してくれました。藤岡選手からは「目標に向かって挑戦し続けたらここに到達した。これからも挑戦し続ける」と今後へ向けた意気込みと黎明生に対するエールをいただきました。

当日は夏休み前の全校集会がアリーナで開かれ、校長先生のお話の後にビデオが上映されました。そこには藤岡選手の世界防衛戦入場時の映像が映し出され、チャンピオンベルトと共に全校生徒で作って送った千羽鶴も映り、防衛戦の打ち合う様子が流されました。その後、ステージにチャンピオンベルトを携えた本人が出てくると、突然のご本人登場にアリーナは歓声に包まれました。生徒代表として生徒会の長谷川侑那さんが歓迎の言葉が述べ、同じく生徒会の高橋美月さんから花束が贈られました。「厳しい試合で一瞬も手を緩めることができなかつた。母校のみなさんから贈ってもらった千羽鶴が励みになった」と感謝の気持ちを述べられました。

今後については、「今ここにベルトがある、挑戦する権利が自分にある。米国で世界戦をする新たな道に挑む」と現役続行を宣言し、「みんなも目標を見つけてそれにチャレンジし続けて欲しい」と後輩に向かって激励の言葉を述べられました。

2019「さが総文文化祭」出場団体報告

創造の羽を広げ、蒼天へ舞え バルーンの如く

美術部

2年5組 村岡小海

おはようございます。私は7月28日、29日に行われた2019「さが総文」に参加してきました。

1日目の交流会では自己紹介の中でお互いの作品を鑑賞し合い、お互いの作品について意見交換をしました。その時、会場に素晴らしい作品が並んでいるのを見て、全国から集まった中のひとつに自分の作品があるということを実感し、嬉しく思いました。また、同じ班の人の作品のテーマや、作品に込めた思いなどを聞き、自分の作品の未熟さにも気付かされました。2日目は「ペンギンは、デザインで空を飛べるのか?」というテーマの講義を受けました。そこでは、一瞬で興味を持たせるにはどうすれば良いのか、印象に残るデザインとはどのようなものなのか、ということを実際に描きながら学びました。

この「さが総文」での2日間は私にとってとても充実したもので、次の作品に繋がるヒントや美術の世界の面白さを見つけられた2日間でした。閉会式の時に感じた「また参加したい」という気持ちを忘れずに今後の制作活動に活かしていきたいと思えます。

私の制作を応援してくれた家族や友人、先生方、本当にありがとうございました。



写真部

「さが総文を終えて」 3年3組 中鉢みなみ



私たちは、7月27日から31日に佐賀県で行われた「さが総文」に参加してきました。昨年度黎明は入賞2点、銅賞1点、銀賞1点の計4点をいただくことができました。3年生3名が撮り直しを重ね、納得いく作品になるまでにかけた時間、努力を考えると集大成としてふさわしい結果を残すことができました。総文祭当日は、人数の関係により銅賞、銀賞を受賞した2名で参加してきました。佐賀県のアテンドさんと全国の写真部員が班ごとに振り分けられた交流会では、初めこそ緊張の色が見えましたが、それぞれが撮影した写真を交換したり、佐賀の町並みや文化に触れる中で、部員同士の仲も深まり、忘れられない一日となりました。また、祐徳稲荷神社での撮影では、猛暑も気に留めず、シャッターを切る部員が多く、不安定な天候ではありましたが、厳かな雰囲気を楽しむことができました。撮影会を終え、最終日の講評会では受賞作品の紹介がありました。学校は違いますが、優秀賞の中には私の友人の作品もあり、全国レベルの高さを改めて感じました。私はこの「さが総文」をもって写真部を引退することになりますが、この素晴らしい経験ができたのは、支えてくれた先生方、モデルの方々、校内選考で選んでくれた部員達のおかげです。本当にありがとうございました。

吟詠剣詩舞愛好会

3年3組 金子杏衣

私は高校に入って初めて吟詠剣詩舞に出会い、初舞台は2年前の「みやぎ総文」でした。当時1年生は私一人で、師匠や先輩方に教わりながら直前まで必死に振り付けを覚えて出場したことは今でも強く印象に残っています。そして3年目、この「さが総文」に同級生、後輩と一緒に出場できたのは実に感慨深いことです。

「さが総文」本番前日のリハーサル後、生徒交流会に参加しました。佐賀県の紹介を聞いた後、各府県の代表者が地元の美味しい食べ物の紹介をしました。私は宮城県代表として日本三景松島、伊達政宗、牛タン、ずんだを紹介しました。他の紹介も、どこも魅力的で、その地に旅行に行きたくなる紹介ばかりでした。

そして本番。宮城県の発表順は2番目だったので、朝早く会場に向かいました。お互いに着付けや化粧を確認し合って本番に臨みました。一番緊張するのは舞台袖。私はみんなと自分の緊張をほぐそうと終始笑顔でいました。音楽が始まり、舞台上に出ると、緊張よりも楽しさや情熱が勝りました。練習以上、いや今までで一番堂々と舞うことができました。

「吟詠剣詩舞は裏切らない」その一心で、私はこれからもこの伝統芸能を続けていきます。



感動は無限大 南部九州総体2019 報告

響かせろ 我らの魂 南の空へ

なぎなた部

3年1組 高井華帆

私たちがなぎなた部は、3年生1名、2年生1名、計2名の選手が、8月10日～12日に沖縄県立武道館で開催された全国高等学校総合体育大会なぎなた競技大会に出場してきました。

演技競技では、予選リーグで1勝することができました。決勝トーナメント進出はできませんでしたが、古川黎明高校のなぎなた部にとって貴重な全国大会での1勝でした。個人試合では勝ち星をあげられず、決勝トーナメントに進出できなかったのは悔しい結果でした。

今年のインターハイでは、団体試合の出場権を得ることはできませんでしたが、今回の大会で見つけた問題点を今後に生かして、来年は団体メンバーが揃ってインターハイに出場できるよう精進していきます。応援よろしくお祈りします。

<大会結果>

【個人試合】(予選リーグ 2Pブロック)

関原胡桃(宇短附・栃木) 1-0 高井華帆(古川黎明)

加藤梨紗(今治東中等・愛媛) 2-0 高井華帆(古川黎明)

【演技競技】(予選リーグ 1Oブロック)

高井華帆・酒井雪花(古川黎明) 0-5 吉野香純・大岡瞳(琴平・香川)

草野紗衣・長澤優奈(甲府昭和・山梨) 1-4 高井華帆・酒井雪花(古川黎明)



卓球部

2年1組 伊藤凜々子

おはようございます。卓球部です。私は、8月16日から鹿児島県で行われた全国高校総体に出場してきました。敗戦しましたが、今まで練習してきたことを発揮し、楽しく試合をすることができました。応援ありがとうございました。これからも卓球部の応援よろしくお祈りします。

全国高等学校総合体育大会卓球競技大会(8月16日～20日) 会場：鹿児島アリーナ

【女子シングルス】

1回戦 伊藤凜々子 0-3 加藤(日工大駒場・東京)



文芸部 ~短歌甲子園2019出場~



3年5組 佐藤昂介

私たちは8月16～18日に岩手県盛岡市で行われた全国高校生短歌大会に出場してきました。本校からは菅野道瑠・佐藤あやか・佐藤鈴佳(3年)の3名で団体戦に、個人戦には4名で参加しました。団体戦は21校が7ブロックに分かれて総当たり戦を行い、先鋒、中堅、大将の3人一組が与えられた題で作った歌を順に発表し、審査員からの鋭い質問に答えました。

結果は団体一次リーグでは花北青雲高校(岩手)と昭和薬科大付属高校(沖縄)に2敗しましたが、敗者復活戦で決勝リーグに進出、渋谷教育学園渋谷高校(東京)とは1勝2敗で惜敗しました。個人戦では全148首の中から佐藤あやかさんが優秀作品賞を受賞しました。

今回の大会に参加し、五七五七七の31音で表される短歌の魅力に改めて気づかされるとともに、他校の皆さんの作品の背景や生活、それぞれの風土やドラマに大きな刺激を受けました。後輩にもぜひ出場してほしいと強く思える素晴らしい体験になりました。応援してくださった方々、先生方、大会に関わった全ての方々にこの場をお借りして御礼申し上げます。ありがとうございました。

ミニ国体出場

弓道部

2年3組 橋元大輔

私は8月23日から25日に福島県郡山市で行われたミニ国体に出場してきました。

結果としては、近的競技3位、遠的競技6位、少年男子として4位タイと非常に悔しいものとなりました。東北地区からは6県中2県しか茨城県で行われる本国体に出場できず、高校生にとってはとても狭き門となっています。しかし、高レベルな他県の選手と同じ射場で一戦交えることができたのは、とても良い経験となり、また、宮城県の代表になれたことは、私にとって誇りでもあります。

今回学んだことを活かして、これからの練習にも励みたいと思います。また、元国体選手として、周囲からの厳しい目の中で恥じない射を心掛け、県内選手の模範となるように努めて行く所存です。私はまだ2年生です。未来の鹿児島も見据え、華々しい結果で私の高校弓道を締めくくられるように邁進していきたいと思っています。



自然科学部

SSH生徒研究発表会出場!

1年3組 佐藤優衣

私たちは、8月7日、8日に兵庫県の神戸国際展示場で行われたスーパーサイエンスハイスクール生徒研究発表会に参加してきました。参加したのは吉澤夏凜・笠原史・佐藤優衣の3人です。

7日には全体でポスター発表があり、審査委員や他校の生徒、先生に向けて発表しました。自分たちの研究を分かりやすく伝えることはもちろん、聞き手の要望や質問にも的確に対応できるよう努力しました。8日は、200を超える参加校の中から選ばれた、6つの代表校の口頭発表がありました。

代表に選ばれただけあって、どれも興味を引きやすく、分かりやすい発表で、たくさん刺激を受けることができました。

賞を受賞することはできませんでしたが、頂いたたくさんのアドバイスや他校の発表から得たことを生かして、今後の研究を高めていきたいと思っています。様々な面で私たちを支援してくださった皆様、ありがとうございました。

